

Death Café vs Quality of life ～ 死と生を語り合う～

2024 年 11 月 23 日は、講演会【デスカフェ ～ 死と生を語り合う場 ～ その可能性を考える】（東中野キングス・ガーデンに於いて）に赴く（画像）。

想えば、2014 年 3 月、筆者は『がん哲学カフェ in UK & 緩和ケアの祖を訪ねる旅』（毎日新聞夕刊 3 月 24 日付け 『がん哲学外来』海を越えて）で、イギリスを訪問する機会が与えられた（画像）。3 月 24 日は、緩和ケアの発祥である St. Joseph' s hospice の見学・セミナーに出席した。特に『First Contact Team』のコンセプトには、大いなる感動を覚えたものである。

3 月 25 日は、ロンドンの街を散策後、日本国大使館を wife と訪問し、大使と医務官と面談し、その後、Charing Cross Hospital の敷地内にある Maggie' s Centre を訪問した。3 月 26 日は、現代ホスピスの祖と言われる Cicely Saunders が始めた St. Christopher' s hospice の見学・セミナーに出席した。

ロンドン大学では、まず、Death Café の提唱者のお話を聴き、その後、6～7 名の小テーブルに別れて対話し、休憩を挟み、筆者は、講演【がん哲学 ～ われ 21 世紀の新渡戸稲造とならん ～ (Cancer Philosophy ～ I want to become the Nitobe Inazo(1862～1933) of the 21 century～)】の機会が与えられた（画像）。会場一杯で、『がん哲学 & 新渡戸稲造』の話を熱心に、聴いて下さった。日本国の存在を語るのに、良い『21 世紀の懸け橋』であると、実感する時となった。

【『クオリティー・オブ・デス（死の質）』vs「クオリティー・オブ・ライフ（人生の質、生活の質）」の視点』、『後悔しない最期を迎えるために』、『家族との絆を深くする「クオリティー・オブ・デス」』、『自分はこう生き切るという意思』、『どういうプレゼントを残すか』、『患者のいろいろな心配ごと』、『死んだら天国で何をするか、夢をもつ』、『人との比較は無意味』、『人生の目的とは何か』】の学びを実感する貴重な『ロンドンの旅』であった。

まさに『いい人生は、最期の 5 年で決まる（SB 新書;2017 年）』（画像）である。。

デスカフェ

-死と生を語り合う場-

その可能性を考える

—豊かな生、良き死はどこに—



©7/2021 by 中野区がん哲学連絡会

死について語る場があったら良いと思いますか？どんな場で、どんなことができれば良いでしょうか？
今回は茶菓をいただきながら、皆さんでそんなことを考えてみたいと思っています。

※事前にアンケートを実施したく考えております。別途ご案内いたしますので、ぜひご協力お願いいたします。

<日時>

2024.11.23(祝土)

13:30-16:00 受付開始13:00

<場所>

東中野キングス・ガーデン

参加費無料

茶菓付



<プログラム>

1. 基調講演「人生と祝福」

放送大学教授・精神科医 石丸昌彦氏

2. 事前のアンケート調査の発表

ルーテル学院大学教授 山口麻衣氏

3. トークセッション ※会場の皆さまと

ホームホスピス里の家理事長 富田真紀子氏

がん哲学外来名誉理事長 樋野興夫氏

臨床宗教師・臨床美術士 吉川直美氏

放送大学教授・精神科医 石丸昌彦氏

ルーテル学院大学教授 山口麻衣氏

<申込/お問合せ先>

定員50名

03-3368-5200(平日9:00~17:00)

中野区がん哲学連絡会

東中野キングス・ガーデン内(奥山・遠辺)

※TEL/メールでどうぞ

nakano.cafe@kg-tokyo.or.jp



主催 中野区がん哲学連絡会 後援 中野区社会福祉協議会 一般社団法人がん哲学外来 ※本事業は中野区社協助成事業です

「がん哲学外来」海を越えて

がん患者のさまざまな悩みに応える草の根の相談の場として各地



樋野興夫教授

に広がっている「がん哲学外来」が、26日にロンドンで開かれる。海外での開催は初め

診察なし 悩み相談の場

で。同外来を開設した樋野興夫・順天堂大教授が渡英し、英国のがん患者と向き合う。同外来は2008年に東京都内で始まった。がん患者は治療に加え、仕事や金銭面、対人関係など多くの悩みを抱えるが、医療機関で十分な対応は難しい。同外来では診察は

順天堂大・樋野教授

ロンドンで26日開催

しないものの、患者が気軽に悩みや思いを打ち明けられる場として現在21都道府県37カ所で開かれる。英国は、終末期患者に寄り添うホスピスの発祥地として知られ、終末期患者と紅茶やコーヒーを飲みながら死を語り合う「Death Cafe(デス・

h Cafe)が、がん哲学外来の英国開催を企画した。当日は、ロンドン大学内の会場に日英のがん患者、難病患者、家族、医療関係者らが集まる。樋野教授は「がん患者と正面から向き合う取り組みが、世界へ広がるきっかけになってほしい」と話す。

【永山悦子】

カフェ、死のカフェ」という取り組みがある。今回はその関係者が、がん哲学外来の英国開催を企画した。

Death Café followed by Cancer Philosophy Lecture

This is the first collaboration of Death cafe in UK and Cancer Philosophy Clinic in Japan.

"Cancer Philosophy Clinic" was set up in 2008 where cancer patients and their families can talk about philosophical matters like seeking the meaning of life, and also the meaning of cancer for them in a relaxed atmosphere by drinking tea or coffee. The idea of "Cancer Philosophy Clinic" has now spread all over Japan. Dr. Hino, the founder, also gives lectures on how he has found his own philosophy: seeing society from the views of a cancer cell.

"Death Café" is a discussion group rather than a grief support or counseling session, and its aim is to increase awareness of death with a view to helping people make the most of their finite lives. Mr. Jon Underwood has dedicated his time to spread the idea of Death cafe since 2010.

The event is free

Come, relax, and talk about
dying, death and life.

Up to 30 people

Send email for booking
(name and address)

info@gantetsugaku.org

☆ Further information ☆

about "Death café" ⇒ www.deathcafe.com

about "Cancer Philosophy Clinic" ⇒ www.gantetsugaku.org

Date and Time schedule

March 26, 2014 (WED) Door open 18:00

☆ 18:15~19:50 Death Café

Facilitator

Mr. Jon Underwood

The founder of Death café in U.K.

☆ 20:00~21:00 Lecture

"Cancer Philosophy"

~ I want to become the Nitobe Inazo (1862~1933)
of the 21st century ~

Speaker

Okio Hino, M.D., Ph.D.

The founder of Cancer Philosophy Clinic

Prof. Department of Pathology and

Oncology, Juntendo University

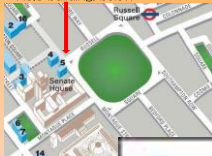
School of Medicine, Tokyo



- Place -

Room No 101, Birkbeck, University of London

No.5 building, below



Room No 101,
Birkbeck, University
30 Russell Square,
London, WC1B 5DP

☆ Contact M 07951-191845 (Ms. Nakamura PM 6:00 ~ PM 9:00)



あなたの余命が あと5年だとしたら

あなたは、今日を
どう生きますか？

「がん哲学外来」の創始者が教える
絶対に人生を後悔しない生き方とは。

がん患者
3000人
と対話